2026年11月12日

各　　位

上場会社名　株式会社インタートレード
代表者名　代表取締役社長　西本　一也
(コード番号：3747　東証スタンダード)
(URL:https://www.itrade.co.jp)
本社所在地　東京都中央区新川一丁目17番21号
問合せ先　業務執行役員　小笠原　功二
電話番号　０３－　４５４０－　３００２

関係会社貸倒引当金繰入額（個別）、営業外費用（持分法による投資損失）、特別利益（関係会社株式売却益）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年９月期第４四半期連結会計期間（2026年７月１日～2026年９月30日）において、下記のとおり、関係会社貸倒引当金繰入額（個別）、営業外費用（持分法による投資損失）及び特別利益（関係会社株式売却益）を計上するとともに、2026年８月７日に公表した2026年９月期の連結業績予想を修正しましたのでお知らせいたします。

記

１．関係会社貸倒引当金繰入額（個別）の計上

当社の連結子会社である株式会社インタートレードヘルスケアは、機能性表示食品の届出番号を取得したものの、計画していた販売数量に届かず、期初計画を下回る見込みです。機能性表示食品としての優位性を十分に活かしきれず、認知度不足により販売計画が未達となりました。当社が有する同社に対する金銭債権について回収可能性を検討した結果、関係会社貸倒引当金繰入額20百万円を計上いたしました。

なお、関係会社貸倒引当金繰入額は連結決算上では消去されるため、連結業績への影響はありません。

２．営業外費用（持分法による投資損失）の計上

当社の持分法適用会社である株式会社デジタルアセットマーケッツ（以下、デジタルアセットマーケッツ）、株式会社ＡｎｄＧｏの決算報告に基づき、当第４四半期連結会計期間に持分法による投資損失44百万円を営業外費用として計上いたしました。この計上により、2026年９月期第４四半期連結累計期間において持分法による投資損失は177百万円となっております。

３．特別利益（関係会社株式売却益）の計上

当第４四半期連結会計期間において、当社は、連結子会社であった株式会社ビーエス・ジェイ（以下、ビーエスジェイ）の全株式を売却し、同社を連結の範囲から除外いたしました。これに伴い、2026年９月期の連結決算において、関係会社株式売却益21百万円を特別利益として計上いたしました。

４．2026年９月期通期の業績予想（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）業績予想の修正

（連結）	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,836	百万円 30	百万円 △142	百万円 78	円 銭 10.86
今回修正予想（B）	1,850	82	△103	133	18.58
増減額（B-A）	14	52	38	55	
増減率（％）	0.8	173.3	―	70.5	
<ご参考>前期実績 （2025年９月期通期）	1,836	△８	△213	△145	△20.20

（２）修正の理由

2026年９月期通期の業績予想について、2026年８月７日に公表した連結業績予想より、売上高は0.8％増収の 1,850 百万円、営業利益は一部支出の後ろ倒しによる販売費及び一般管理費の減少により、173.3％増益の82百万円となる見込みです。経常損失は、前期より計上額が減少傾向にあるものの、デジタルアセットマーケッツの事業計画の遅れに伴う持分法による投資損失の計上により、103 百万円となる見込みです。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、第１四半期連結会計期間に230百万円の持分変動利益を計上したことに加え、当第４四半期連結会計期間に関係会社株式売却益 21 百万円を特別利益として計上したことから、133百万円となる見込みです。

以上

（注）業績予想数値について

上記に記載した内容は、本リリースを公表した時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。